

サンプル 介護人材実態調査 【A票・事業所向け】

砺波地方介護保険組合

令和8年1月1日現在の貴事業所の状況について、 の中に、ご回答ください。

※同一の法人で複数のサービスを運営されている場合、事業所・施設（以下、「事業所」という）ごとにそれぞれご回答ください。

Q1 事業所名・ご担当者情報等を入力してください。

事業所名	
ご担当者氏名	
電話番号	
Eメールアドレス	

Q2 該当するサービス種別（介護予防を含む）を、ご回答ください。（1つに○）

1. 訪問介護、訪問型サービス、訪問入浴
2. 訪問看護、訪問リハビリ
3. 小規模多機能型居宅介護
4. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
5. 通所介護、通所型サービス、通所リハビリ、地域密着型通所介護、認知症対応型通所介護
6. 特別養護老人ホーム、地域密着型介護老人福祉施設入所者介護 ※短期入所生活介護を含む
7. 介護老人保健施設 ※短期入所療養介護を含む
8. 介護医療院 ※短期入所療養介護を含む
9. 認知症対応型共同生活介護（グループホーム）
10. 住宅型有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、軽費老人ホーム、ケアハウス

貴事業所（Q2で選択したサービス種別の事業所）に所属する介護職員・看護職員についてお伺いします。

※ここでの「介護職員・看護職員」は、賃金の支払いを受けている方に限ります。（ボランティアの方は含みません。）

※他の事業所等と兼務している職員についても、それぞれの事業所等で回答してください。

（例）同一の職員が、「訪問介護」と「住宅型有料老人ホーム」を兼務している場合、「訪問介護」の職員、「住宅型有料老人ホーム」の職員として、それぞれご回答してください。

Q3 介護職員・看護職員（常勤・非常勤）の年齢層ごとの人数を、ご回入ください。（数値を記入）

※前月に出勤のない、長期休暇（育児休業等）中の職員は人数に含めないでください。

（単位：人）

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
介護職員（常勤）							
介護職員（非常勤）							
看護職員（常勤）							
看護職員（非常勤）							

Q4 外国人職員・派遣職員の人数を、ご回入ください。（数値を記入）

※「外国人」には、EPA・技能実習・在留資格「介護」、特定技能により勤務している人数をご記入ください。

（単位：人）

（単位：人）

外国人職員数		派遣職員数	
--------	--	-------	--

Q5 令和8年1月1日時点で、貴事業所は開設から1年以上経過していますか。（1つに○）

1. はい ⇒問6へ
2. いいえ ⇒問7へ

※Q5の回答が「はい」の事業所にお伺いします。

Q6 過去1年間（令和7年1月1日～7年12月31日）の介護職員・看護職員の採用者数と離職者数（常勤・非常勤）を年齢層ごとにご記入ください。（数値を記入）

(単位：人)

(1)採用者数	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
介護職員（常勤）							
介護職員（非常勤）							
看護職員（常勤）							
看護職員（非常勤）							

(2)離職者数	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
介護職員（常勤）							
介護職員（非常勤）							
看護職員（常勤）							
看護職員（非常勤）							

※Q2の回答が「1～5」（サービス種別が1～5）の事業所にお尋ねします。

Q7 貴事業所の利用者で訪問入浴サービスが必要と思われる方は、何名程度いますか。（1つに○）

1. 1～2人程度	5. 20人以上
2. 3～5人程度	6. いない
3. 6～10人程度	7. わからない
4. 11～20人程度	

※ここからは全ての事業所にお伺いします。

Q8 貴事業所の介護ロボットの導入状況について、ご回答ください。（①～⑪ごとに○は1つ）

	導入している	導入を検討している	導入する予定はない
①移乗支援			
②移動支援			
③排泄支援			
④入浴支援			
⑤生活支援（食事支援など）			
⑥介護業務支援（記録支援）			
⑦服薬支援			
⑧リハビリ支援			
⑨見守り			
⑩コミュニケーション			
⑪その他の介護ロボット			

Q9 介護ロボットの導入効果について、どのように評価していますか。（①～⑥ごとに○は1つ）
なお、導入の実績がない場合は、予想される効果についてご回答ください。

	効果がある	変わらない	効果がない	分からぬ
①介護職員の業務負担の軽減				
②人材不足への対応				
③業務の効率化・活性化				
④介護の質の向上				
⑤利用者の安全確保				
⑥職場環境の改善				

Q10 貴事業所において、運営するうえでの課題は何ですか。（いくつでも）

1. 職員の離職率が高い
2. 希望に合う人材が確保できない
3. 現在の介護報酬では、人材確保や定着のための賃金が払えない
4. 経営が困難で、職員の給与・待遇改善ができない
5. 施設や設備への投資ができない
6. 利用者の確保が難しい
7. 教育や研修体制が整備されていない
8. 夜勤・休日出勤など職員の勤務負担が大きい
9. 利用者や家族からの要求が多様化・高度化している
10. 認知症や医療依存度の高い利用者への対応が困難である
11. 医療機関や他の介護事業所との連携が十分でない
12. 記録や事務作業の負担が大きく、介護業務に集中できない
13. 介護保険制度の改正や指導監査への対応が負担である
14. IT化・デジタル化への対応が困難である
15. 外国人材の受け入れ体制が整備されていない
16. その他（自由記述）

Q11 介護職員の待遇改善のために、貴事業所ではどのような取り組みを行っていますか。（いくつでも）

1. 基本給の引き上げ	9. 育児や介護との両立支援
2. 賞与・一時金の増額	10. 福利厚生の拡充
3. 夜勤手当の増額	11. 希望する勤務形態の選択
4. 資格手当の拡充	12. メンタルヘルスケアの充実
5. 役職手当の拡充	13. キャリアアップのための資格取得支援
6. 正社員登用制度の拡充	14. 職場環境の改善
7. 残業時間の削減	15. その他（自由記述）
8. 有給休暇の取得促進	

Q12 介護人材確保のために、貴事業所ではどのような採用活動や取組みを行っていますか。（いくつでも）

1. ハローワークを利用した求人募集
2. 民間の求人媒体・サイト・アプリの活用
3. 介護専門の求人媒体・サイト・アプリの活用
4. 短時間・単発の労働（スキマバイト）を対象とした求人サイト・アプリの活用
5. 自社ホームページでの採用情報の充実
6. SNSを活用した採用活動
7. 職員紹介制度の導入
8. 合同就職説明会・就職フェアへの参加
9. 専門学校や大学との連携強化
10. インターンシップの受け入れ
11. 潜在的介護士への復職支援プログラムの実施
12. 外国人介護人材の採用
13. シニアや定年退職者の積極採用
14. 労働条件の柔軟化
15. 未経験者向けの入職支援プログラムの実施
16. その他（自由記述）

Q13 外国人介護職員の確保に関して希望する支援はありますか？（いくつでも）

1. 外国人材とのマッチング支援
2. 受入の初期費用の支援
3. 住居費用の支援
4. 日本語学習支援
5. 介護記録作成等に必要な日本語研修
6. 介護技術の入門的な研修
7. 地域社会との交流・共生に向けた支援
8. 外国人介護職員の介護福祉士資格取得のための支援
9. 特にない
10. その他（自由記述）

Q14 処遇改善や人材確保に関して組合や市に期待するサポートがあれば、ご回答ください。（自由記述）

Q15 その他、組合や市に対して必要な支援や要望があれば自由にご記入ください（自由記述）

ご回答ありがとうございました。

ご回答いただいた内容は、砺波地方介護保険組合で厳格に管理し、統計的な集計のみに使用させていただきます。